発表論文集原稿作成要領（テンプレート）

――日本離婚・再婚家族と子ども研究学会　第3回大会準備委員会――

○野口　康彦　・　〇〇 　〇〇

　　　　　　　（茨城大学人文社会科学部）　（〇〇家庭裁判所）

1. 書式について

レイアウトについては、以下の注意事項をよくお読みください。このテンプレートをダウンロードして使用されてもかまいません。

（１）用紙：A4を使用し、1枚に必ず収める。

（２）文書作成ソフト（Microsoft Wordを推奨）を使用し黒色で作成する（カラー不可）。

（３）余白：上22 mm、下27 mm、左右17 mmとする。

（４）題目：MS明朝20ポイント（以下ptと略記）で記入する。ただし、題目が2行にわたる場合は、ポイント数を下げて1行に収める。副題がある場合には、普通字サイズMS明朝（10.5 pt）で記入し、1行に収める。

（５）氏名：主題・副題の次の行に、MS明朝（10.5 pt）で記入する。連名発表の場合は、筆頭発表者の前に○印をつける。

（６）所属：発表者氏名の下の行に、MS明朝（10.5 pt）で、括弧でくくって記入する。筆頭発表者と連名発表者の所属が異なる場合には、それぞれの所属を記入する。

（７）本文：所属の行から1行空けて書き始め、2段組の形式とする。本文の文字はMS明朝（10.5 pt）、見出しはMS Pゴシック（10.5 pt）で、基本的には1行文字数は23字まで、行数は42行程度とし、本文枠（縦217 mm×横176 mm）に必ず収める。英数字は、本文はTimes New Romanですべて半角、見出し番号はMS Pゴシックですべて全角とする。

（８）図表・写真：画像として原稿に組み込む（カラー不可）。図表・写真が本文枠（縦217 mm×横176 mm）からはみ出すことのないように注意する。この図表がそのままPDFになるため、鮮明なものとする。